

令和 3 年 8 月 2 0 日

洞爺湖町学校給食センターに係る検討委員会  
委員長 柿崎 秀 顕 様

洞爺湖町教育委員会  
教育長 皆 見 亨

洞爺湖町学校給食センターの今後の方向性に対する洞爺地区住民との意見交換会  
(情報交換会) の内容について

令和 3 年 8 月 1 1 日 (火)、洞爺総合センターにおいて、洞爺湖町の学校給食センターの今後の方向性に対する意見交換会 (情報交換会) が行われました。

つきましては、意見交換会 (情報交換会) で出された意見等について、別添のとおり整理しましたので報告いたします。

なお、出された意見等につきまして、今後の検討委員会で検討していただきますようご配慮願います。

学校給食センターに係る検討委員会設置に関する洞爺地区保護者の集いで出された意見

①検討委員会での議事録（情報）の公開について

情報が少なすぎる。検討委員会が立ち上がり、今後の方向性を検討していることも知らなかった。

今後の検討委員会での会議録の公開を望む。公開が難しいのであれば、概要をまとめたものをホームページなどにアップする方法もある。検討をお願いしたい。

②子どもたちにアンケートを取ってみてはどうか。

この度の件に関して、子どもたちにアンケートなどを取って、どういうふうを考えているのか、アンケートでまとめてみてはどうか。美味しいということは分かっているが、毎日食べている子どもたちの意見も併せて検討願いたい。

③子どもたちに安心安全な学校給食の提供を望む。

子どもたちに温かい、優しい給食を、そこを一番に考えてもらえたら嬉しい。

④地元の食材を使った給食を継続してほしい。

洞爺の給食は地元の食材（野菜）を使っており、誰が作っているかなど、作っている人の顔が見える。地域との繋がりは、もし、合併しても残してもらいたい。

⑤今の食育教育（例：テーブルマナーなど）を継続してほしい。

洞爺は食育教育が進んでいる。施設が一つになったら、継続がむずかしくなるのではないのか？また、行事食も減るのではないのか？続けてもらいたい。

⑥洞爺地区での情報交換会を他の地域でも望む。

保護者は、この度の統合を含めた今後の方向性について、どの地域でも聞きたいと思っている。もし問い合わせがあれば、洞爺地区と同じ対応（情報交換会等）をとって頂きたい。

⑦今のまま2つの施設で運営しておけば、万一の災害時にも心配がないのではないのか。

虻田給食センターが老朽化しているのであれば、虻田の給食センターだけを改修し、洞爺はこれまで通りの運営とすることにより、万一の災害時にどちらかがダメになっても、安定した給食が提供できるのではないのか。

⑧給食残渣を限りなくゼロに近づけていくことが大切

他市町村で多い所で10%に対し、洞爺給食センターの残渣はほとんどなし。虻田給食センターは年間多くて5%程度。仮に統合したとして限りなくゼロに近づけていくことが大事。

⑨仮に合併したとしても双方の良いところを取り入れてほしい。

合併することは合理的で決して悪いことではないと思う。施設を改修したり設備を入れ替えたりすることで機能も良くなり、また動線も確保されることにより、良いことがいっぱいあると思う。子どもたちが美味しいね、楽しいねと言ってもらえることが大切。合併してもしなくても、双方の良いところを取り入れて話しが進んでいければありがたい。

⑩子どもファーストで話しを進めてほしい。

洞爺の給食はおいしいに加え、テーブルマナーや食に関するいろいろな知識を教えてくれる。子どもファーストで進めてほしい。

⑪ハード面もそうだが、ソフト面での議論も望む

建物をどうするのか、改築するのか、新築するのも大事なことだが、ソフト面の中身がもう少し細かく一覧で取り上げて、そのことが、仮に統合、改築するにしても、どういう影響をするのか、無くなるのか、一部取り入れられるのか、継続できるのか、それぞれの項目を検討する検討委員会であってほしい。

また、仮に一緒になるにしても虻田地区の方々の意見もあることから、それぞれの項目の意見をすり合わせをして出来ること、変わることをしっかり整備して結論を出して頂いて、皆さんに伝えて頂きたい。